

北海道における水活交付金を活用した 多年性作物(牧草)の作付状況について

〔 令和4年3月
畜産WG 〕

- 全道の牧草の作付面積に対する、交付金申請面積の割合は5.5%と低いが、空知・石狩では50%を超えているほか、檜山・上川で30%を超えるなど、一部地域では、重要な粗飼料の生産基盤となっている。
- 水活対象面積に対する割合は「水田経営等」（家畜を飼養していない生産者。）で50.9%、「畜産経営」（家畜を飼養している生産者。耕種との兼業含む。）で49.1%と同程度であるが、「水田経営等」における割合が高い地域では、交付金の見直しにより、粗飼料の不足が懸念される。
- 「畜産経営」のうち、酪農経営が22.5%と最も割合が高く、次に肉牛経営が19.9%。

(単位：ha)

振興局	牧草作付面積 (R2実績) a	水活対象面積 (R3交付予定)					
		面積		水田経営等		畜産経営	
		b	割合 b/a	c	割合 c/b	d	割合 d/b
空知	4,526	2,300	50.8%	1,340	58.3%	960	41.7%
石狩	5,287	2,787	52.7%	1,372	49.2%	1,415	50.8%
後志	2,438	371	15.2%	308	83.0%	63	17.0%
胆振	8,807	1,887	21.4%	478	25.3%	1,409	74.7%
日高	31,502	5,562	17.7%	2,829	50.9%	2,733	49.1%
渡島	8,540	1,438	16.8%	667	46.4%	771	53.6%
檜山	4,393	1,500	34.1%	763	50.9%	737	49.1%
上川	21,328	6,412	30.1%	3,791	59.1%	2,621	40.9%
留萌	14,499	974	6.7%	388	39.8%	586	60.2%
オホshima	41,004	94	0.2%	19	20.2%	75	79.8%
十勝	63,857	282	0.4%	52	18.4%	230	81.6%
宗・釧・根	221,119	—	—	—	—	—	—
全道計	427,300	23,610	5.5%	12,007	50.9%	11,603	49.1%

※「牧草作付面積」は畜産振興課調べ（公共牧場等の面積は含まない。）

※「水活対象面積」は飼料作物対象面積からの推計

